

■神奈川県中小企業団体中央会

「環境経営ネットワーク」

55号 2004/05/13 発行

今回より、環境メールマガジンを神奈川県技術士会さんをお願いしております。特に環境経営に関する様々な側面よりサポートいただきますので、購読者の皆様ご期待ください。(中央会事務局)

■中小企業における環境経営の意義

—「環境経営に役立つ環境技術」シリーズの狙い—

1. はじめに

現在では、地球の温暖化の問題を始めとして環境問題にどのように取り組むかが社会全体の大きな課題となっております。このことは企業経営にとっても同様で企業規模や業種に関係無く企業が環境問題にどのように取り組んでいるかによって企業経営の姿勢や企業の存続意義が評価される時代となっております。身近な問題では、環境マネジメントシステムのISO14000の認証を取得することが中小企業の経営にとって重要な課題となりつつあります。

今後も日本が技術立国として今までのように発展して行くためには中小企業のお力を借りなければ立ち行かないのです。

この度、神奈川県中小企業団体中央会のご依頼により企業の経営者や幹部特に中小企業の経営者及び幹部の方々にとってお役に立つような環境関連の技術や経営関連の情報や解説などを、約1年にわたって、中央会のメールマガジンに技術の本質を熟知している技術士の集団である神奈川県技術士会のプロジェクト組織の一つである環境マネジメントセンターの会員がかわるがわる寄稿することになりました。

2. 素晴らしい中小企業

中小企業が大企業の資本力に対抗して、今まで存続できているということは、とりも直さず、何か素晴らしいコア技術を持って対処してきたということに他なりません。

"V S O P"と称される現象があります。本来はウイスキーなどの高級さをあらわす言い方で、Vはvery(大変に)、Sはspecial(特別な)、Oはold(古い)、Pはproduct(製品)ということですが、中小企業の経営にもV S O P

があると私共では申しております。その意味するところは、Vは Vitality (生命力旺盛な、バイタリティ) Sは Specialty (スペシャリティ、何かスペシャルなものを持っている) Oは Originality (他人にはない独特の) Pは Personality (パーソナリティ) であり、その企業の持つ高い技術力や他の企業の追随を許さない独自性や活力あふれる企業活動の指標となるものです。特に中小企業の経営者には、人間性豊かなパーソナリティに富んだ魅力ある方々が多いようです。そんな方々によって中小企業は支えられているのが実情であると考えられます。

### 3. 中小企業の環境経営

最近の世の中は環境ブームと言っても過言でなく、何でもかんでも環境、環境です。環境経営とか環境技術というのもその一例です。一言で環境と言っても意味が広く、地球温暖化、大気汚染などという問題も勿論環境問題です。一方、身近なこと、例えば、ごみ処理、職場の清掃、リサイクルなどもすべて立派な環境対策の一部と考えられます。難しく考えればどれ一つとして解決が容易でない、大きな問題とも言えますが、例えば、ごみを分別する、資源化してリサイクルに供する、省エネルギーを図るなど身近なこともすべて環境対策で、ただのケチケチ作戦も立派な環境経営と言えるでしょう。これらの一つ一つが解決策であり、立派な正解ではありますが、正解は一つとは限りません。別の解決方法はないのか？環境問題に対処しながら出来るだけ利益を確保する方法はないか？ こんなことを考えてみるのが重要であると思われま

### 4. 今こそ環境経営を

環境対策を推進することは立派な企業経営の一環であります。

現在では、中小企業対策として各種の補助金などの制度が整備されています。特に、環境関連については、役所の補助金の予算の枠取りも比較的容易になるようなことも聞かれます。

パーソナリティ豊かな企業の幹部の方々と、われわれ技術士が協力して貴社の事業発展を目指して、経営技術、環境技術そのもの、人材育成などの各分野での改善を図り、業績アップにつなげて行けるなら、一番望ましいところです。技術士をコンサルタントとして身近におけば、技術的な相談に留まらず、企業経営の面でもまた補助金申請の際にもなにかといろいろとお役に立てると思います。いろいろな専門家と上手に付き合っ

て、情報を集め、それを金のなる木に皆で育て上げ、ひいては日本経済の発展に資することが出来ればと考えております。

これから約1年間、マネジメントとか、リスクコミュニケーション、ゼロエミッ

ションなど難しそうな横文字も分かりやすく解説して、企業経営者にとって身近なメールマガジンとしたいと考えております。

神奈川県技術士会 環境マネジメントセンター会長 大川 治

-----  
「環境経営メールマガジン」の全過去ログを見ることができます。

<http://itnet.chuokai-kanagawa.or.jp/chuocomdb/mm.html>

また、環境経営メールマガジンの他にも、IT、生活、技術などメールマガジンを発行しております。(上記 URL で内容を参照できます)  
是非、ご一読を・・・!

-----